# 第1回厚生労働省と全国知事会との定期協議・論点メモ

# 1 医師確保について

#### 医師養成数の増加について

- ・ 「骨太の方針 2008」に定められた医学部定員数の過去最大程度までの 増員の着実な実施
- ・ 更なる増員も含めた医師養成のあり方の抜本的見直し
- ・ 着実に医師養成を進めるための環境整備への支援策
- ・ 社会的要請の強い診療科において必要な医師数を養成できるシステムの 構築
- ・ 医師不足地域や診療科における一定期間の診療経験の管理者要件に付加

#### 臨床研修制度

- ・ 医師不足地域における臨床研修病院の定員増や新規指定
- ・ 勤務医師数の多い地域での研修受入枠の制限
- ・ 卒業した大学の所在する地域ブロックの病院の中から研修病院を選択する制度への変更
- ・ いわゆる後期臨床研修の制度としての位置づけ及びへき地勤務など政策 医療への従事を義務付け
- ・ 研修医が地方に留まる仕組みづくり

### |2 介護人材の確保について

介護報酬の改定(平成21年度)

- ・ 適切な水準の介護報酬の設定
- ・ 経験や資格の介護報酬への適切な反映
- ・ 地方公共団体や住民の財政負担が過重にならない配慮
- ・ 中山間地域・離島等における介護人材の確保

#### キャリアアップの仕組み作り

・ 資格制度の創設(介護福祉士資格に技能や経験に応じた等級制を導入するなど)

介護の社会的意義に関する国民へのPR

# 3 新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ対策の全体像の早期提示

- ・ 今後のスケジュール、課題への対応方針
- ・ 都道府県、市町村の役割の明確化

知事への権限付与など法整備

外出、集会等の制限、臨時医療施設の設置等

財源措置

### 4 その他

長寿医療制度の見直し

障害者自立支援法の見直し

特定疾患等における超過負担の解消

など